

27号
54部

所屬部隊	比島派遣 第九七部隊	死	昭二 七月 十六日	場所	ネラノス山 シライ山中 レナニナシ 平原	事由	頭部貫通 銃創ニテ 戦死	認察 番号	現役 曹長	氏名	右全	本籍	父
------	---------------	---	-----------------	----	-------------------------------	----	--------------------	----------	----------	----	----	----	---

右現認不

現住所
所屬部隊
比島派遣
第九七部隊
曹長

留守業務部長殿
歸還軍人ニ依ル首題ノ件左記ノ通り報告ス
追而 本件ハ左記現認者ノ申出ニ依リ調製シタルモノニシテ當部ニ於テハ公報等處理シアラサルニ付爲念

昭和二十一年三月十六日

戦時死亡者現認ニ關スル件報告

地方世話部長

昭 21.2.23
4315
付

8-11

211

昭和二十一年三月廿一日

戦時死亡者現認ニ關スル件報告

地方世話部長

留守業務部長殿

歸還軍人ニ依ル首題ノ件ノ左記ノ通り報告ス

追而 本件ノ左記現認者ノ申出ニ依リ、調製シタルモノニシテ當部ニ於テ
報等處理シアラサルニ付為念

所屬部隊	死	葬日	場所	事由	現役	官階	氏名	本籍	留置者現在所
此處以遺	昭二	昭二	不明	頭部貫通	現役	上等兵	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
成九九七部隊	同日	同日	不明	銃創ニ依リ	現役	上等兵	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]

右現認ス

現住所

所屬部隊

此處以遺

成九九七部隊

留守業務部長



戰時死之者調書

區

分

記

事

籍地

所屬部隊(固有)

役種 徵集年
官等級代 名

親身相當者住所
稱代 名

死 年月日及區分

之 傷(病) 所 名

受傷(病) 年月日時

傷(病) 所 名

西郡七十三部隊 (比島球連威第十五三二部隊)

養補名

昭和九年七月廿六日 時

陸軍上等兵

[Redacted]

[Redacted]

昭和二十年七月廿六日 時 分戰傷病死公務死

ミシタ才島バレンヤ西方約三千料

戦死

現認所屬

昭和二十一年七月十八日

陸地復員局

曹代若印

陸軍何

其

印

[Redacted]

印

死亡事實(現認)證明書

本籍地

[Redacted]

現住所

所屬部隊

野砲兵第六聯隊

徵集年

官等級 上等兵
氏名 [Redacted]

右ノ者昭和二十一年七月十八日 時

分隊を率いて於テマリノアニ依リ戰傷

病死シタルコトヲ證明(現認)ス

昭和二十一年七月十八日

所屬部隊

職名 野砲兵第六聯隊

官等級 伍長

氏名 [Redacted]

注 一、死亡地點、受傷部位、病名等判明シタルモノハ詳記ス
二、職名之中、小隊長、砲手、操縦手等ハ詳記ス

30-11

1951

戰死證明書

生 死 別 記

一、戰死者本籍地

[Redacted]

戶主名 氏名 長男

氏名

[Redacted]

年 月 日生

二、所屬國有部隊名

比名 派遣隊 第五四七部隊

三、戰死者發集年 昭和二年 在種現役 兵種步兵 死亡地官守最陸軍 年月日 昭和 年 月 日

四、戰死年月日時刻及場所 昭和二年七月二十七日 北支那 八里橋 北支那

五、戰死現況ノ程度 死体確認

六、遺言歸還ノ有無 不明

七、戰死當時ノ狀況ノ概要 陣中分七、至子口、北支、白河、津浦、連年ノ身體疲勞

本墓の為別件因覽

八、死亡區分 戦病死 事由 傷病 發病年月日 昭和 年 月 日

九、其ノ他 (上陸地、死亡有無、依リ申立、部隊變更、又、不即歸還、申立済、上陸年月日及上陸地)

一〇、遺族ノ現住所

[Redacted]

戰死者ノ新稱 氏名

氏名

[Redacted]

右ノ通り戰死セシメタルコトヲ證明候也

昭和二年 月 日

證明者 住所

[Redacted]

戰死者ノ關係

所屬部隊名

第五四七部隊 兵種 步兵 官守 最陸軍

氏名

[Redacted]

市町村長證明箇所

印

24-11

現認證明書

本籍地

現住所

所屬部隊

官氏名

陸軍

死亡場所

死亡區分

死亡日時

死亡傷(病)名

留守擔當者住所

續柄氏名

昭和三十二年

現認者住所

元所屬官氏名

[Redacted]

同左

兵團マリア防衛司令部 臨時歩兵第四大隊

軍曹 (死亡前) [Redacted]

北島弘之 島ソザール州 モンタルバン

戦死

昭和二十年七月二十六日

頭部貫通銃創

[Redacted]

父 [Redacted]

右證明する

七月十一日

[Redacted]

臨時歩兵第四大隊

衛生軍曹 [Redacted]

事實(現認)證明書

本籍地

現住地 全

所屬部隊 固有部隊名 威第1531部隊
通稱號名 2531部隊

官等級氏名(死亡前)

右の者昭和二十年七月二七日 日午十四時 分

於て(病傷名) 死亡したことを證明する

昭和二十二年 七月十九日

所屬部隊 威第1531部隊

現住地

死亡者との關係 隊長

(舊)職官等級氏名 陸軍少佐

17-12

寺彈終り
[redacted] 件 寺答

一 [redacted] 届ケタリハ [redacted] 誤ニ付訂也

二採用年月日、当時、本捧額、身分不明

三死亡前、身分、雇員、本捧額、不明

四遺骨遺品ナシ

五死亡当時、状況

七月十四日、製材所ヲ転進、キーツクニ向ケテ歩死

七月十四日、カラバ州所ニ到着、十四日、部隊再編成ニ

利次、私ノ分隊ニ加ワル [redacted] 連日、行軍ト再度、マシリヤ
ノ為、衰弱甚シ

七月十九日、本隊ハカラバニ到着、二十一日(三日カレ)年次到着、私

共四名、州漆ヲ、二十四日、小康ヲ得シカニ思ハル

二十五日、昏睡状態ニナリ、二十七日、十四時頃、死亡

左寺答ニテ

[redacted]

確認証明

(確度乙) 三

屬部隊名 北島派遣隊第一五九〇部隊

級次名 陸軍上等兵

者 昭和三年七月二十七日北島クタク地区に於て
病死セルトウ確認ス

昭和三年十二月二十一日

北島派遣隊第一五九〇部隊

中隊長 陸軍中尉

増等級 氏名	陸軍曹長	[Redacted]	[Redacted]	現住所	[Redacted]	[Redacted]	現住所	獨逸混成歩兵第二聯隊 第三大隊第十中隊人員係	[Redacted]	遺留品は千葉留守業務局に送付しあり	参 世小山生理弄し復員迄花を手に居り	料 世小山生理弄し復員迄花を手に居り	資 ツク整備に任ず此の地に在りて四月五月にゲリラ討伐に参加	談 年二月二十三日ウミンガンク戦に参加南後三月三日ウルトガン及タビ	確 峯山港出帆九月入。島米島北ウルトガンに上陸せり昭和二十	昭和十九年八月三日は滿洲清々哈爾濱に於て編成し八月三十一日	中隊 職三九六部隊	聯隊 職三九六部隊	部 職三九六部隊	所 職三九六部隊	所 職三九六部隊	所 職三九六部隊	所 職三九六部隊
--------	------	------------	------------	-----	------------	------------	-----	---------------------------	------------	-------------------	-----------------------	-----------------------	----------------------------------	--------------------------------------	----------------------------------	-------------------------------	--------------	--------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------

死亡
確
申
書
白

本籍地

上等兵

所属部隊 国府名 建築勤務隊第三十七中队

通稱號 隊第四八二九部隊

右の者昭和二十一年七月二十七日午後四時十分北島マニラ市外「トツカン」山に於いて戦死した

死体は同所に埋葬した

昭和二十一年十月十二日

隊第四八二九部隊

元 兵長

26

現認證明書

地方世話

所屬部隊 陸軍 上等兵	本籍地 [Redacted]	死亡年月日時 昭和二十二年七月二十日	死亡場所 七六〇二部隊	死亡事由 [Redacted]	死亡區分 戦死	留守宅住所氏名 [Redacted]	死時状況 北島少佐の島に於て... 戦死	死後関係 戦友	右現認證明致します 昭和二十二年七月十六日

川崎

戦死者確認(證明)書

- 一、死没者所属部隊名(通稱等) 比呂海軍(兵) 第六九部隊
- 一、戦没年月日 昭和二十一年一月 陸軍 補充兵 兵種 輸送兵
- 一、官等(死没前) 陸軍一等兵 (死没後)
- 一、氏名 [Redacted]
- 一、死没場所 [Redacted]
- 一、死没原因(事由) [Redacted]
- 一、死没年月日時 昭和二十一年七月二十七日 日 時
- 一、死没者本籍地留守担当者 [Redacted]

右確認(證明)ス

昭和二十二年一月十日

元所属部隊名 比呂海軍(兵) 第六九部隊

現住所 [Redacted]

元官等 級 [Redacted]

氏名 印 [Redacted]

註 死亡事由、場所ハナニハシクテニ終戦後ノ死亡ハ明細ニ生死不明ニナラズ若ハソノ前段ヲ
クワシタオ知ラセ下サイ

宛 先 [Redacted]

地方世話部 健健係

認定係

現 認 証

籍地

部隊名 30 教員司令部

官等氏名 軍属

死亡年月日 昭 20 年 7 月 28 日

死亡場所 ルソン島

死亡区分 戦死

死亡理由

右 現 認 証

本籍地

部隊名

官等氏名

飛行第30戦隊

127-12

戦死者確認(證明)書

一、死歿者所属部隊名(連番號) 陸軍第一八〇〇部隊(ヤマト野戦中隊)

二、豫定年 昭和五年 役種 神志 兵種 歩兵

三、官給(死歿前) 〇〇〇〇 (死歿後) 〇

一、氏名

一、死歿場所

一、死亡區分及事由

一、死歿年月日時

一、死歿者本籍地等據置者

右確認(證明)ス

昭和五年七月二十一日

元所属部隊名

陸軍第一八〇〇部隊

現住所

元官等級

氏名印

註 死亡亦由、場所ハナルベククソシク特ニ終戦後ノ死亡ハ明細ヲ生死不明ニナッタ者ハソノ前後ヲ

クソシクオ知ラセ下サイ

宛 先

陸軍省 兵務局 兵隊課

死亡證明書

所屬部隊 陸軍第六師 隊

官 階 陸軍少將

本籍 地名 [REDACTED]

死亡日期 昭和二十一年七月五日

司場 所 東京市北區本町三丁目

死亡原因 腦溢血 受傷 一月前在 [REDACTED] 處
其時在 [REDACTED] 處 [REDACTED] 受傷 (今年) 七月五日 死之

右證明 致 下等

昭和二十一年 七月五日

證明官 姓名 [REDACTED]

所屬部隊 陸軍第六師 隊

官 階 陸軍少將

23-10

事實證明書

本籍地

現住所 右 同

所屬部隊 マラ航空隊 才大松王敷整備隊 威一五三二

徵集年 昭八

役種 不備

兵種 輔重兵

官等 級

死亡前 上士 死亡後 兵長

留所担当者 依 所

續柄妻

氏名

氏名

生年月日

内地港湾出奔年月日

戦地に到着年月日

勤務ノ概要 昭和九年十月三日 或は年或月或日 マラ航空隊 整備隊 従軍 同年参同 地上部隊 英國ニ協力

発病(受傷)年月日

昭和九年十月四日

病名(受傷部位)	マウリヤ
卒病(受傷)時ノ状況	戦中折込場路筋病場隊在病状悪化
死亡年月日時刻	
死亡年月日時刻	昭和貳拾年七月貳拾九日指貳時指分
死亡場所	マウ東方五・新イホ五・谷ニ於テ死セ
死亡区分	戦病死
死亡時ノ状況	七月二十日ヨリ全ク意識不明食慾ナシ 二十九日八時注射ニ依リ意識ハ取戻スモ病状悪化 スルニ至リ十二時間度意識不明十分死ス

右證明ス

昭和二十五年二月十五日

本籍地

所屬部隊 マウ航空隊 大塚五郎 整備隊

定等級陸軍少尉ニ等級

備考

推シ又ハ他ノ戦友等ヨリ聴取セルモノナル時ハ其ノ者ノ
官等級代名所屬部隊ヲ明ニシ其ノ旨記載ノコト

12-14

留守名簿林消濟

25.10

現認證書

比高 衆道成 弟一三九一 師隊

陸軍上等兵

右者昭和二十年七月三日山ノノ 船山ニ於テ

栄養失調ニ依リ戦死(野死)セリトテ現認

昭和 年

月 日

現認者元

成

弟一三九一

陸軍上等兵

現任所

氏名

[Redacted]

戦死証明書

一、戦死者本籍地

田 北 彦

戸主名 額納

戸主

女 男

氏名

年 月 日生

48-10

二、所屬 部隊名 比 島 派遣 隊 第九四七部隊

三、戦死者徵集年 昭和十七年 戦後復讐 兵種 歩兵 死亡前官等級 陸軍 少佐 昭和十七年一月十日

四、戦死年月日時刻及場所 昭和十七年七月十九日 北前川 右側 陸軍

五、戦死現認ノ程度 屍体ハ處理ス

六、遺骨歸還ノ有無 ナシ

七、戦死當時ノ状況ノ概要 ルノ之ノ筋ハシテ峠陣地撤退後戦死ニシテ
戦死中途中上流部隊カコニテ士気ノ鼓舞
ヲシテ戦死シテ現存ノ遺骨見ス

八、死亡區分 戦死 事由 戦時中 戦死年月日 昭和 年 月 日

九、其ノ他 (特種戦死ノ区別ニ依リテ) 戦死ノ区別ニ依リテ 戦死ノ区別ニ依リテ 戦死ノ区別ニ依リテ

三、遺族ノ現住所

戦死者ノ遺納

氏名

右ノ通り戦死セラレタルコトヲ證明候也

昭和二十二年三月三日

證明者住所

戦死者ノ關係

所屬部隊名

兵種 歩兵 官等級 陸軍 少佐

氏名

市町村長證明箇所

右ノ通り相違ナシトシテ証明

昭和二十二年三月三日

事實証明書

所属 團名 通稱号	威一七六二四部隊 一七九大隊	本籍	[Redacted]
年 月 日	一九一九年 五月 廿九日	役 兵一等兵	[Redacted]
留守 担当者 住所	[Redacted]		
年月 時分	昭和三年五月二十九日午後八時		
死亡 場所	ルン島「ドン宮地」		
区分	一戦死		
死亡 理由	本人病室に於て 着床死七後遺症一を以り		
事由	マラリヤ病		
傷病名	マラリヤ病		
証人 復員 経緯	ドン宮地「ドン宮地」に於て マラリヤ病に罹り上陸二年に於て 一を以り上陸二年に於て 一を以り上陸二年に於て		

右證明す

昭和三年五月二十一日

現在所 [Redacted]

所属部隊 威一七六二四部隊
一七九大隊

官等級 陸軍二等兵長

氏名 [Redacted]

戦時死亡現認證明書

記

事

官氏名印	現認者所屬	受傷(病)	勤務ノ概要	内地港灣出發 職地到着年月日	死亡	留守 官等 官等 官等	役種 官等 官等	所屬部隊(固有な名)	本籍地	區分
	昭和二十一年十月十日 比島派遣隊一五二七部隊 陸軍兵長		大隊本部有線	昭和十九年六月 八月四日	死亡 年月日及區分 昭和三十二年七月二十日 時 分 比島シダテノ島 マキトノシ州 父	死亡前ノ官等級 死亡後ノ官等級 陸軍上等兵	現役昭和十八年徵集	中三七飛行大隊		

5-14

1579

現認 證明書

本籍地

所屬部隊 陸軍 陸軍 陸軍 陸軍

年 月 日生

一 役種、兵種、年次

一 死亡年月日時 昭和三年七月廿七日午前七時

一 同 場 所 比島ルノニ島 八ノタノカニ

一 同 区 分 戦死

一 遺骨の有無 ナシ

一 遺族 現住所 右相違無キコトヲ證明ス

昭和三年三月七日

現認者

所屬 階級 氏名 隊長

死亡者	復歴	年月日	訖	事
19	10	1	3	上陸
20	1	30	1	戦死
20	1	1	1	伊長?

173-10

葬儀報告書

[Redacted Name]

昭和十九年五月廿九日

昭和十九年五月廿九日

昭和十九年五月廿九日

昭和十九年五月廿九日

昭和十九年五月廿九日

昭和十九年五月廿九日

昭和十九年五月廿九日

昭和十九年五月廿九日

昭和十九年五月廿九日

昭和十九年五月廿九日

昭和十九年五月廿九日

昭和十九年五月廿九日

昭和十九年五月廿九日

昭和十九年五月廿九日

昭和十九年五月廿九日

昭和十九年五月廿九日

昭和十九年五月廿九日

昭和十九年五月廿九日

昭和十九年五月廿九日

昭和十九年五月廿九日

昭和十九年五月廿九日

昭和十九年五月廿九日

昭和十九年五月廿九日

昭和十九年五月廿九日

昭和十九年五月廿九日

昭和十九年五月廿九日

昭和十九年五月廿九日

昭和十九年五月廿九日

昭和十九年五月廿九日

昭和十九年五月廿九日

昭和十九年五月廿九日

昭和十九年五月廿九日

昭和十九年五月廿九日

昭和十九年五月廿九日

昭和十九年五月廿九日

昭和十九年五月廿九日

昭和十九年五月廿九日

昭和十九年五月廿九日

現認證明書

比島派遣隊 第六七部隊 隊

陸軍

陸軍

昭和二十年七月三十一日 陸軍省 第六七部隊 於

名糧不足 二旅ノ戦死(戦病死)セルコトヲ現

認

昭和二十年九月五日

現認者 第六七部隊 陸軍 附録

氏名 [Redacted]

現認證明書

比島派遣第百〇七部隊 隊

陸軍上等兵

右者昭和五年七月三日島中ニ於テ
砲弾ノ胸ヲ貫通ニ依リ戦死(戦病死)セルコトヲ現認ス

昭和五年一月三日

現認者元 威第一〇部隊教導隊陸軍少尉

階級

現住所

氏名



印